

宮崎県市町村・地域づくり団体協働モデル事業

多世代交流の 憩いのガーデンづくり事業

ふくろうの会
(都城市)

事業名：多世代交流の憩いのガーデンづくり事業

1. 【団体の概要】

ふくろうの会は、平成 23 年 3 月に結成され今年で 10 年目になる。地域のコミュニティの活性化と高齢者の生きがいづくり、そして人と地域に笑顔のあふれるまちづくりを目的として活動している。もともとは、牧場であった牛舎を改築して、活動を開始した。



平成 23 年度に野菜の直売所を作り、地域の農家や高齢者が作った野菜などを販売して、地域の活性化につなげている。

平成 24 年度には、憩いの集会所を作り、体操教室やカラオケ教室などで地域の高齢者の交流の場所づくりに取り組む。

平成 28 年度には、地産地消の野菜などで作るスムージーやソフトクリームが食べられるように、癒しのカフェスペースづくりに取り組む。



NPO法人ふくろうの会・都市のお野菜市場

平成 29 年度には、地域の保育園や幼稚園の子ども達がお散歩コースで来てくれるように、キッズハウスや木製のベンチを設置した。

こうした事業に現在も取り組んでおり、団体のメンバーは、理事長をはじめ野菜直売所の女性スタッフ 5 名、会員約 400 名で構成されている。



2. 【事業の目的、ねらい】

憩いの場所を設置することにより、子どもたちはもちろん子育て世代の家族、若者や学生など、子どもから高齢者まで集まりやすくなるようなコミュニティの場所を提供し、地域の活性化につなげることを目的としている。

また、ガーデンイベント等を開催することで、地域住民だけでなく地域外の人との交流を行い、お互いが良い刺激や影響を受けられるよう地域の活性化を図る。

3. 【活動内容】

(令和元年 10 月 18 日～20 日)

- ・当法人の余地スペースを重機などで整地を行った。
- ・古い堆肥小屋を解体し、別のスペースに移築して新たにガーデンスペースを整備した。

(令和元年 11 月 2 日～4 日)

- ・当法人余地スペースを整地し、約 150 m²に芝を張った。



(令和元年 11月 20日)

・地域の子育てサークル2グループとまちづくり協議会の会員と一緒に花の寄せ植えを行った。

その後、昼食会でカレーライスをみんなでつくり、一緒に食べることで交流が深まり、憩いのガーデンをPRすることができた。



(令和元年 11月 30日)

- ・「ふくろう秋の音楽会」地元のハープアーティストや鹿児島アイリッシュバンドを招待して開催した。市の広報誌やホームページにも掲載することができた。
- ・地元の飲食店に出店依頼、新鮮野菜を使った料理を提供してもらった。
- ・地域の高齢者クラブに声をかけてフリーマーケットに参加してもらった。
- ・来場者は約700人あり、大変賑わいのあるイベントができた。



4. 【事業の成果、効果】

・地域の子育てサークルや高齢者クラブと協働で花植えや昼食会を実施し世代を超えたコミュニティ活動が図られた。

・ミニ音楽会「ふくろう秋の音楽会」を開催したことで、これまでとは違った形での、地域の飲食店や演奏者、高齢者クラブとの交流が生まれ、新たな交流の場の提供ができた。

・「地産地消」の商品を紹介することで、生産者と消費者との顔の見える交流ができた。

・イベント等を通して、都城市民の他、当法人の近くを通る「都城志布志道路」を利用する近隣市町村の人たちの参加もあり、その人たちへのPRができた。これからさらなる広域的な交流の発展が期待される。



5. 【まとめ】

今回の「多世代交流の憩いのガーデンづくり」事業を単なる1法人のガーデンづくりにとどまらず、子どもから高齢者、障がい者などのたくさんの人たちが集い、交流し、楽しめる場所づくりとして続けていきたい。また、地域の大きな課題となっている高齢化問題、「高齢者がいつまでも地域で元気に生活できる社会づくり」に向けて、引きこもりの防止や見守り活動など、地域の拠点としてその役割が担えることを目標にして、今後は他の分野の団体とも連携したネットワークを作り、広域的なまちづくりに取り組みたいと思う。

